北九州の芸術文化情報マガジン　Culture & Cultivate

(公財)北九州市芸術文化振興財団
Kitakyushu City Foundation for Promoting Arts and Culture

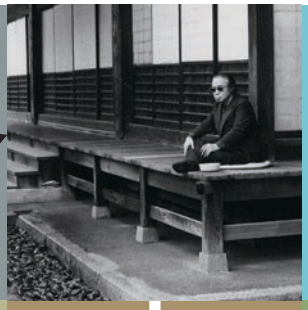
かるかる

2014年 1月 vol.220

市制50周年
開館15周年
記念特別企画展

北九州市と松本清張

清張文学の原点（ふるさと）



①八幡製鐵所東門付近（昭和3年）
②小倉・広寿山にて（昭和55年）
③小倉城大手門付近にて（昭和55年）
④母校・天神島小学校創立90周年にピアノを寄贈（昭和36年）
⑤天神島小学校卒業写真の清張（大正11年）
⑥香春口一北方間を走った鉄道馬車（明治末期）

2014年
1.18[土]→
3.31[月]

北九州市立
松本清張記念館
地階［企画展示室］

北九州市小倉北区城内2番3号
TEL093(582)2761
FAX093(562)2303

http://www.kid.ne.jp/seicho

常設展示観覧料：一般500円[400円]・中高生300円[240円]・小学生200円[160円][ ]内は30名以上の団体料金
開館時間：午前9時30分―午後6時[入館は午後5時30分まで]
＊松本清張ゆかりの品や情報をお持ちの方は、記念館までお知らせください。

北九州芸術劇場

●住所／小倉北区室町1-1-1-11 リバーウォーク北九州6F　●電話／093-562-2655　●休館日／年末年始
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩3分　バス:「室町・リバーウォーク」徒歩1分　●開館時間／公演によって異なります

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	九州交響楽団ニューイヤーコンサート2014	4(土)	17:00	S席 ￥2,500 A席 ￥2,000	九響チケットサービス 092-823-0101
中劇場	北九州市民劇場1月例会　青年座「をんな善哉」	11(土)	18:30	会費 ※市民劇場会員でない方はお問合わせ下さい。	北九州市民劇場 093-541-0075
		12(日)	13:30		
		13(月)	13:30		
		14(火)	13:30		
			18:30		
		15(水)	13:30		
		16(木)	12:00		
		17(金)	13:30		
		18(土)	13:30		
	本條秀太郎の会　特別公演〜「小倉節によせて」〜	30(木)	19:00	￥4,000 (当日￥500増)	小倉節の会 050-3354-1518(IP)
小劇場	活水同窓生による素敵な新春コンサート	5(日)	14:00	￥1,000	活水同窓会北九州支部 093-653-3649(柳元)
	ダンボール人形劇場「お花のハナックの物語」 人形劇俳優“たいらじょう”の希望と感動がいっぱい詰まった物語	12(日)	14:00	大人 ￥2,500 子ども(3歳以上中学生以下)￥1,000 親子 ￥3,000 (当日各￥500増) ※2歳以下膝上観覧無料	北九州芸術劇場 093-562-2655
	ツドエmeets北九州vol.10 劇団子供鉅人「HELLO HELL!!!」 関西の人気劇団が九州に初上陸！地獄の亡者たちのミュージカル！	18(土)	18:00	一般 ￥3,000 学生 ￥2,000 高校生以下 ￥1,000 ※学生・高校生以下は前売りのみ取扱 (当日￥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
		19(日)	13:00		
	レオ・レオニ　絵本のしごと 開催記念トークイベント＆徳永玲子の絵本の時間 宮本啓丞(KBCアナウンサー)・徳永玲子(タレント)・よしながこうたく(絵本作家)によるトークおよび絵本の朗読	25(土)	13:00	無料 (先着150名)	北九州市立美術館分館 093-562-3215
			15:00		

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ
北九州芸術劇場は平成26年度中に大規模な改修工事を予定しております。(予定工事期間：平成26年12月1日から平成27年1月31日)　〈北九州芸術劇場　施設利用係　TEL 093-562-8436〉

北九州芸術劇場 市民ギャラリー

●住所／小倉北区室町1-1-1-11 リバーウォーク北九州5F　●電話／093-562-2520
●開館時間／10:00〜19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩3分　●休館日／年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
真颯館高校美術デザイン科　第15回卒業制作展	9(木)〜14(火) ※最終日は16:30まで	無料	真颯館高校美術デザイン科 093-561-1231
読売FBS文化センター水彩画教室＆輝水会作品展	15(水)〜21(火)	無料	読売FBS文化センター水彩画教室＆輝水会 093-371-9051
以呂波会習作展	22(水)〜28(火)	無料	以呂波会
南北墨画会有志展	29(水)〜2/4(火) ※10:00~18:00	無料	南北墨画会 093-871-0220

北九州市立響ホール

●住所／八幡東区平野1-1-1　●電話／093-662-4010　●駐車場／240台(有料)　●休館日／年末年始
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩15分　バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際村交流センター」徒歩2分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会受賞記念演奏会 〜若き演奏家たちのニューイヤーコンサート〜 第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会1位〜3位入賞者	5(日)	12:00	一般　￥2,000 ※小学生以上同一料金	毎日新聞西部本社事業部 093-511-1119(福田)
北九州伯林的管弦楽団 演奏会 中田延亮(指揮)　ブルックナー:交響曲第５番変ロ長調	12(日)	15:00	無料	北九州伯林的管弦楽団 093-611-6706(中西)
子どもたちのためのレクチャーコンサート 大作曲家たちの友情と反目 渡辺玲子(ヴァイオリン) 江口玲(ピアノ) 北九州市ジュニアオーケストラ	19(日)	15:00	定員に達したため、 お申し込みは締切りました。	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-562-3611
響ホール20thシリーズ KIRIN presents　Best of Les Frères ベスト オブ レ・フレール in 北九州 レ・フレール(斎藤守也・斎藤圭土) ファンが投票した「あなたのレ・フレール楽曲BEST3」からのプログラム!	26(日)	15:00	チケット完売 大人 ￥5,000 中学 ￥3,500 ※0才〜中学生 ※全席指定	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊　音楽　美術・展示　映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

出光美術館(門司)

●住所／門司区東港町2-3 ●電話／093-332-0251 ●開館時間／10:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩8分 車:「門司IC」約10分 ●休館日／月曜日(展示替期間、年末年始)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
中国・明清陶磁の至宝 ―官窯の洗練、民窯の創造 景徳鎮の青花・五彩・粉彩などの磁器と、各地の民窯陶磁を展示。	～2/2(日) ※12/28～1/3は休館	一般 ￥600 高校・大学生 ￥400 中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093-332-0251

関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

●住所／門司区西海岸1-3-3 ●電話／093-331-6700 ●休館日／年５回
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間／9:00～17:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	5(日)	11:00 13:00	無料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093-331-6700

門司港レトロ展望室

●住所／門司区東港町1-32 ●電話／093-321-4151 ●休館日／なし
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間／10:00～22:00(カフェは21:00まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ(近藤タケユキデュオ〔トリオ〕)	4(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料金必要 大人 ￥300 小人 ￥150	B&A 門司港 093-321-4151

旧大連航路上屋 etc.

●住所／門司区西海岸1-3-５ ●電話／093-322-5020 ●開館時間／9:00～17:00
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩5分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
マンスリージャズ	12(日)	14:00	無料	旧大連航路上屋 093-322-5020
マンスリーシアター	26(日)	14:00	無料	
松永文庫企画展 「郷土コレクターシリーズPART１～故・平嶋雄三郎コレクション～」	1/11(土)～4/4(金)		無料	

アルモニーサンク 北九州ソレイユホール etc.
(旧九州厚生年金会館)

●住所／小倉北区大手町12-3 ●電話／093-592-5405 ●休館日／年末年始・毎月1回(不定休) ●開演時間／公演によって異なります
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩30分、「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場／80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	聖ソフィア・シュトラウス・オーケストラ ニューイヤー・スペシャル・コンサート	8(水)	18:30	全席指定 ￥5,500	CARAVAN 092-732-8858
	グランディーバ・バレエ団 ジャパンツアー2014 NY発「男だけのバレエ団」	15(水)	19:00	全席指定 ￥8,000	CARAVAN 092-732-8858
	北九州市民文化大学　文化講演会 講師:「三遊亭 円楽」氏	18(土)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093-522-5008
	クリエ・ミュージカル・コレクション 九州公演 ミュージカル界の巨匠の名曲の数々で贈る、極上のステージ	30(木)	14:00	全席指定 ￥11,000 学生　￥4,000	ピクニックチケットセンター 050-3539-8330

北九州市漫画ミュージアム

●住所／小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5階6階) ●開館時間／11:00～19:00(入館は閉館30分前まで)
●電話／093-512-5077 ●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩2分 ●休館日／火曜日(祝日の場合は翌日休館)、12/29～1/3、館内整理日

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
「震災復興と漫画」展 東日本大震災からの復興において漫画・漫画家が果たした役割とは	1/11(土)～2/2(日)	無料 ※漫画ミュージアム常設展チケットまたは年間パスポートが必要	北九州市漫画ミュージアム 093-512-5077

北九州市立小倉城庭園 etc.

●住所／小倉北区城内1-2 ●休館日／なし ●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間／9:00～17:00(11月～３月は17:00まで 4～10月は18:00まで)受付は閉館30分前まで ●電話／093-582-2747

会場	イベント	期間(時間は上記)		入場料	問合せ先
企画展示室	武家の調度 江戸時代の華麗な婚礼調度の数々を展示します。	～2/2(日) ※1/6(月)展示替え		小倉城庭園入館料 一般 ￥300 中高生 ￥150 小学生 ￥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
	ギャラリートーク 当館学芸員による展示解説です。	11(土)	14:00～ 14:30		

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊　音楽　美術・展示　etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州市立小倉城庭園 etc.

●住所／小倉北区城内1-2　●休館日／なし　●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間／9:00～17:00(11月～3月は17:00まで 4～10月は18:00まで)受付は閉館30分前まで　●電話／093-582-2747

会場	イベント	期間(時間は上記)		入場料	問合せ先
立礼席	**呈茶無料振る舞い** 1月1日～3日まで来館されたお客様、各日先着100名様に抹茶を無料で振る舞います。	1(水・祝)～3(金)	10:00～16:00	小倉城庭園入館料 一般 ￥300 中高生 ￥150 小学生 ￥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
和室・立礼席	**新春茶会** 茶道講座生の発表の場でもある恒例の新春茶会です。	18(土) 19(日)	9:00～14:00	¥1,500 (薄茶二席・入館料込) ※要申込	

北九州市立こども文化会館(併設到津市民センター)

●住所／小倉北区下到津4-3-2　●電話／093-592-4152　●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始
●アクセス／バス:「小倉北特別支援学校」徒歩1分・「金田陸橋西」徒歩5分　●駐車場／20台　●開館時間／9:00～17:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
児童劇場	**あらかると演劇公演** 演目:ヒカルの夏～かがみの森で見つけたぼく～　出演:劇団　あらかると	26(日)	14:00	無料	こども文化会館 093-592-4152

北九州市立視聴覚センター etc.

●住所／小倉北区城内4-1　●電話／093-561-3131　●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩10分　バス:「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分　●開館時間／9:30～18:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
北九州シティオペラ　“オペラ新春コンサート” ※申込:12/17(火)電話受付開始、締切1/7(火)　定員50名	11(土)	14:00	無料 ※要事前申込	北九州市立視聴覚センター 093-561-3131
子ども映画会 ごんぎつね　アメリカンアニメ「王子様になりたい」ほか	12(日)	14:00	無料 (先着50名)	
週末映画会(洋画「断崖」)	18(土)	14:00	無料 (先着50名)	
クラシック・レコードコンサート ベートーヴェン作曲:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」ほか。解説あり	19(日)	14:00	無料 (先着50名)	
週末映画会(邦画「父ありき」)	25(土)	14:00	無料 (先着50名)	

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

●住所／小倉北区大手町11-4　●電話／093-583-3939　●休館日／所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩15分　バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分　●駐車場／有り(有料)　●開館時間／9:30～21:30

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	**第17回小倉商業高校吹奏楽部定期演奏会**	11(土)	14:00	¥500	福岡県立小倉商業高等学校 吹奏楽部 093-921-2245

北九州市立美術館分館 etc.

●住所／小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F　●電話／093-562-3215　●開館時間／10:00～18:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分　バス:「室町・リバーウォーク前」下車　●休館日／12/29～1/1

イベント	期間(時間は上記)		入場料	問合せ先
レオ・レオニ　絵本のしごと 絵本原画・資料約100点　油彩・彫刻約30点	～2/16(日)		一般 ￥1,000 高大生 ￥600 小中生 ￥400	北九州市立美術館分館 093-562-3215
(レオ・レオニ展関連イベント) **KBCアナウンサーによる絵本のお話し会** KBCアナウンサーによる絵本の朗読	18(土) 19(日)	①11:00 ②14:00	無料 (ただし観覧券は必要)	

北九州市立文学館

●住所／小倉北区城内4-1　●電話／093-571-1505　●開館時間／9:30～19:00(土日祝は18:00まで) 入館は閉館30分前まで
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分　バス:「北九州市役所前」徒歩2分　●休館日／月曜休館(月曜日が祝・休日の場合は翌日)、年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
平成25年度北九州市七区文化祭俳句大会 **入選作品～俳句の勧め** 北九州市の各区文化祭俳句大会の入選句と選者の句の短冊等を展示する。	12/21(土)～1/19(日)	一般 ￥200 中高生 ￥100 小学生 ￥50	北九州市立文学館 093-571-1505

北九州市立松本清張記念館

●住所／小倉北区城内2-3　●電話／093-582-2761　●開館時間／9:30～18:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩5分　バス:「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分　●休館日／12/29～12/31

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	**北九州市制50周年・開館15周年記念特別企画展** **「北九州市と松本清張」**	1/18(土)～3/31(月)	常設展示観覧料に含む 大人 ￥500 中高生 ￥300 小学生 ￥200	松本清張記念館 093-582-2761

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊　音楽　美術・展示　etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

小倉井筒屋

●住所／小倉北区船場町1-1　●電話／093-522-3111（代）　●定休日／不定
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩7分　●展示時間／10:00～19:00※各最終日は16:00に閉場

会場	イベント	期間（時間は上記）	入場料	問合せ先
大画廊	～年始恒例～　絵画お宝市	2(木)～7(火)	無料	小倉井筒屋　大画廊 093-522-2521
	第2回　日本の四季賛歌　川島末雷油絵展	8(水)～14(火)	無料	
	花の命を描くⅡ　佐々木経二日本画展	15(水)～21(火)	無料	
	＜光と色彩の詩＞　武井政之油絵展	22(水)～28(火)	無料	
	日本画・洋画版画展	1/29(水)～2/4(火)	無料	
小画廊	日本画・洋画・版画　年始の絵画奉仕会	2(木)～7(火)	無料	小倉井筒屋　小画廊 093-522-2521
	上賀茂流真多呂人形　波多江真麗華　作品展	8(水)～14(火)	無料	
	～気鋭の作家達～　新鋭作家洋画展	15(水)～21(火)	無料	
	ミナコ　カワウチ版画展　Fine scenes in Japan	22(水)～28(火)	無料	
	～光と影の調和～　髙瀬竜二油絵展	1/29(水)～2/4(火)	無料	

小倉城

●住所／小倉北区城内2-1　●開館時間／4月～10月 9:00～18:00 11月～3月 9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩20分、「西小倉駅」徒歩10分　都市高速:大手町ランプより車で5分　●電話／093-561-1210

会場	イベント	期間（時間は上記）		入場料	問合せ先
1階歴史ゾーン	三城物語 ～中津城から小倉城、そして熊本城へ細川家の軌跡～ 小倉城を築城した細川家にスポットをあて、所蔵品他、紹介展示	～3/30(日)		大人 ￥350 中高 ￥200 小学生 ￥100	小倉城 093-561-1210
天守閣1階	第55回小倉城大鏡餅　鏡開き	11(土)	10:00	大人 ￥350 中高 ￥200 小学生 ￥100	
天守閣前広場	第55回小倉城大鏡餅　おしるこ会 先着2,000名様に、おしるこを振る舞います。	13(月)	11:30～ 13:30	無料	

水環境館

●住所／小倉北区船場町1-2　●電話／093-551-3011　●開館時間／10:00～20:00　●休館日／年末年始
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分　バス:「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとバイオリンとピアノの奏べ」 歌:酒井京子　バイオリン:加来洋子　ピアノ:湯田美津子	15(水)	14:00	無料	水環境館 093-551-3011

若松市民会館

●住所／若松区本町3-13-1　●電話／093-771-8131　●駐車場／110台（共用）　●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「若松駅」徒歩1分　バス:「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分　●休館日／年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
小ホール	カラオケ発表会 カラオケ広場「みちづれ」	19(日)	9:30	無料	カラオケ広場「みちづれ」 093-771-0092

北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

●住所／八幡東区西本町1-20-2　●電話／093-661-9130　●開館時間／10:00～18:00
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩5分　西鉄バス:系統番号1,系統番号22　●休館日／年末年始

会場	イベント	期間（時間は上記）	入場料	問合せ先
ギャラリー	第2回　日本職人會　展示～即売会 織・アート画・文字彫刻・人形師・陶芸・流木アート・食品他　150点	11(土)～13(月・祝)	無料	旧百三十銀行ギャラリー 093-661-9130

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

●住所／八幡東区東田2-4-1　●電話／093-681-1011　●休館日／年末年始(12/29～1/1)　●開館時間／9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「スペースワールド駅」徒歩5分、バス:「いのちのたび博物館」徒歩1分　●駐車場／市営駐車場(いのちのたび博物館横)大型30台、普通300台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
歴史ぽけっと企画展　「北九州街道物語2　黒崎宿」 長崎街道の宿場として栄えた黒崎に伝わる文化財を紹介し、黒崎宿の歴史と役割を明らかにします。	～3/31(月)	9:00	※要常設展観覧料	いのちのたび博物館 093-681-1011
歴史ぽけっと企画展　「さぐってみよう　昔のくらし」 明治から昭和時代にいたるくらしと変化について、着物やさまざまな道具を中心に紹介します。	～3/31(月)	9:00	※要常設展観覧料	

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊　音楽　美術・展示　etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館) etc.

●住所／八幡東区東田2-4-1 ●電話／093-681-1011 ●休館日／年末年始(12/29～1/1) ●開館時間／9:00～17:00(入館は開館30分前まで)
●アクセス／JR:「スペースワールド駅」徒歩5分、バス:「いのちのたび博物館」徒歩1分 ●駐車場／市営駐車場(いのちのたび博物館横)大型30台、普通300台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
冬の特別展「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」 北九州市制50周年を記念して仁川・旅順両博物館の所蔵品を、青銅鏡・陶磁器・絵画を中心に紹介します。	～2/11(火・祝)	9:00	※要常設展観覧料	いのちのたび博物館 093-681-1011
冬の特別展関連イベント「韓国・中国のお正月体験」 両国のお正月行事、遊び、衣装を紹介し、体験することによって生活文化に触れることができます。	5(日) 12(日) 19(日) 26(日)	①10:00 ②14:00	※要常設展観覧料	
歴史講演会「幕末海峡裏話」 講師：下関市立長府博物館 館長 古城 春樹氏	18(土)	13:30	¥700	

北九州市立児童文化科学館 etc.

●住所／八幡東区桃園3-1-5 ●電話／093-671-4566 ●開館時間／9:00～17:00(入館は開館30分前まで)
●アクセス／バス:「市立児童文化科学館前」徒歩5分 ●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)・年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
科学館前広場	**はねつき・こままわし大会** 昔の遊びに挑戦！記録をとります。上位入賞者にはプレゼントがあります。「ミニSLも運行！」	5(日)	14:30	無料	児童文化科学館 093-671-4566
会議室	**サイエンスショー** 「静電気に関する科学実験」	13(月・祝)	14:30	無料	

現代美術センターCCA北九州 etc.

●住所／八幡東区尾倉2-6-1-3F ●電話／093-663-1615 ●休館日／展覧会によります
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩8分 ●開館時間／10:00～17:00(但し、展覧会開催時のみ)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
CCA PLAYTIME 2014-TALK「妖怪冬談義－幻獣出没録 ＩＮ 九州」 講師：妖怪研究家 湯本 豪一氏。その他会場などの詳細はお問い合わせください。	23(木)	19:00	1人 ￥1,500 (ワンドリンク付) ※要事前申込	現代美術センターCCA北九州 093-663-1615

北九州市立子どもの館 etc.

●住所／八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ７階 ●電話／093-642-5555 ●開館時間／10:00～19:00
●アクセス／ＪＲ:「黒崎駅」徒歩1分 バス:「黒崎バスセンター」徒歩1分 ●休館日／1/1(水)・2(木)・15(水)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
イベント広場	**美和会(よしわかい)演芸ステージ** 獅子舞や曲芸、大道芸など新春にふさわしいステージ	5(日)	13:00 15:00	無料	北九州市立子どもの館 093-642-5555

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館 etc.

●住所／八幡西区木屋瀬3-16-26 ●開館時間／9:00～17:30 ●休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 ●電話／093-619-1149
●アクセス／車:九州自動車道 八幡IC、北九州都市高速 馬場山ランプから車で約10分 JR:「筑前植木駅」徒歩約15分 筑豊電鉄:「木屋瀬駅」徒歩約5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ座	**第13回 木屋瀬いろは歌留多大会** 宿場町木屋瀬の歴史・伝統などをテーマとした歌留多大会。	12(日)	13:00	無料 ※要申込	長崎街道木屋瀬宿記念館 093-619-1149
	New Year コンサート 響ホール室内合奏団によるコンサート	19(日)	14:00	￥400 (当日￥100増)	

黒崎井筒屋

●住所／八幡西区黒崎1-1-1 ●電話／093-643-5111(代) ●定休日／不定
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間／10:00～19:00※各最終日は17:00に閉場

イベント	期間	入場料	問合せ先
迎春和彩展	12/31(火) 2(木)～5(日)	無料	093-643-5268
久木朋子木版画展 ～やまのこえ かぜのいろ～	7(火)～13(月・祝)	無料	
現代人気作家による魅惑のガラス絵展	14(火)～19(日)	無料	
和田木乃実 創作屏風展	21(火)～26(日)	無料	

黒崎ひびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール) etc.

●住所／八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話／093-621-4566 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩5分 筑豊電鉄:「黒崎駅」徒歩8分 西鉄・市営バス:「熊手四つ角」バス停より降りてすぐ 北九州都市高速:黒崎ICから5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	**林家きく麿プロデュース「黒崎寄席」** 「笑点」でお馴染みの林家木久扇と地元出身きく麿の師弟二人会	26(日)	13:30	一般 ￥2,500 高校生以下 ￥1,500 ※全席指定	黒崎ひびしんホール 093-621-4566
中ホール	**ムジクルアート～作品展示～**	18(土)	13:00	無料	ムジクルアート実行委員会 090-1367-5788(有持)

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

黒崎ひびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール)

●住所／八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話／093-621-4566 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩5分 筑豊電鉄:「黒崎駅」徒歩8分 西鉄・市営バス:「熊手四つ角」バス停より降りてすぐ 北九州都市高速:黒崎ICから5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
中ホール	ムジクルアート～絵本のような音楽会～	19(日)	14:00	一般 ￥2,000 (当日￥500増) ペア券 ￥3,500 子ども(小学生以下)￥1,000	ムジクルアート実行委員会 090-1367-5788(有持)
	黒崎寄席を120%楽しむ為の、落語講座	26(日)	11:00	無料 (黒崎寄席のチケットをご購入の方) ￥500 (講座のみ参加の方)	黒崎ひびしんホール 093-621-4566

北九州市立美術館　黒崎市民ギャラリー

●住所／八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3F ●電話／093-644-5206
●開館時間／9:00～19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる

イベント	期間	入場料	問合せ先
北九州のディテール展 写真家 大森今日子 × 建築家 古森弘一 × 建築史家 倉方俊輔 「写真からひもとく近現代建築」	～19(日)	無料	NPO法人創を考える会・北九州 093-562-9300(吉武)

北九州市立美術館本館

●住所／戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ●電話／093-882-7777 ●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29～1/3)
●アクセス／バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」「美術館口」より無料シャトルバス運行 ●開館時間／9:30～17:30(入館は閉館30分前まで) ●駐車場／180台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
コレクション展示室	コレクション展Ⅲ～この素晴らしき彫刻の世界 彫刻を中心に約30点	～13(月・祝)		一般 ￥150 高大生 ￥100 小中生 ￥50	北九州市立美術館 093-882-7777
	コレクション展Ⅳ～加納光於と中西夏之	1/25(土)～4/13(日)		一般 ￥150 高大生 ￥100 小中生 ￥50	
企画展示室1～2	柳瀬正夢 1900-1945　大正・昭和を駆けぬける 油彩・水彩・ポスター・資料等	～2/2(日)		一般 ￥1,000 高大生 ￥600 小中生 ￥400	
門司港ホテル	(柳瀬正夢展関連イベント)　フィールドワーク 柳瀬が10代を過ごした門司の町を歩く ※申込:往復はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記入、1/5必着　美術館「柳瀬展フィールドワーク係」へ	25(土)	13:30	無料 ※要申込	
本館B1F 講堂	(柳瀬正夢展関連イベント) 美術ボランティアと一緒に鑑賞しよう!! 美術ボランティアが作品を解説	11(土) 18(土) 25(土)	13:30～15:30	無料 (ただし観覧券は必要)	
市民ギャラリー	福岡県立八幡中央高等学校 芸術コース第14回卒業制作展 洋画・彫刻・工芸・書・グラフィックデザイン等　約150点	7(火)～12(日)		無料	八幡中央高等学校 093-681-2335(松栄)
	高文連北九州地区高等学校写真展 写真 約600点	15(水)～19(日)		無料	福岡県高等学校文化連盟 北九州支部・写真専門部 093-561-1231 (真颯館高校・石川)
	第23回日専連児童版画コンクール北九州の部 市内児童による版画	21(火)～26(日)		無料	西部毎日広告社 093-531-6481(柳澤)
	赤馬展 洋画・日本画・彫刻・工芸など	28(火)～2/2(日)		無料	福岡教育大学美術科 090-2854-7936(木須)

戸畑市民会館(ウェルとばた内)

●住所／戸畑区汐井町1-6 ●電話／093-871-7200 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日／年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ラマツィーニ管弦楽団　演奏会	12(日)	18:00	無料	ラマツィーニ管弦楽団 090-4990-0343(荒牧)
	北九州市制50周年記念　ウェルとばた　新春歌まつり 戸畑区内で活動中のカラオケ6団体による発表会	19(日)	10:00	¥1,000	ウェルとばた総合案内 093-871-7200(佐藤)
中ホール	ニューイヤーコンサート 音楽発表会(ピアノ、ギター、バイオリン、ベース、歌など)	11(土)	16:30	無料	Sumire Music 093-293-4244(奥野)
	北九州シティオペラ'26新春コンサート	12(日)	14:00	一般 ￥1,500 学生 ￥1,000	北九州シティオペラ 090-1365-6030(今井)
	山崎晶子と仲間たちコンサート	13(月・祝)	13:30	¥1,000	アンサンブルすみれ 093-511-0393(福田)

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊　音楽　美術・展示　etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

戸畑市民会館(ウェルとばた内)

●住所／戸畑区汐井町1-6　●電話／093-871-7200　●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「戸畑駅」徒歩1分　バス:「戸畑駅」徒歩1分　●休館日／年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
中ホール	ピアノとヴァイオリンによるデュオコンサート リスト:スペイン狂詩曲、ブラームス:バイオリンソナタ3番　ほか	26(日)	14:00	一般 ￥2,000 学生 ￥1,000	デュオコンサート実行委員会 090-5930-0771(諏訪)
交流プラザ	ウェルカムコンサート 出演:The Dayz(ざ でいず) 第2回 北九‘sストリートバンドバトル優勝グループ	9(木)	12:20	無　料	ウェルとばた総合案内 093-871-7200

平成25年度 合唱組曲「北九州」演奏会 ふるさと“北九州”をうたう

指揮　増井信貴／管弦楽　九州交響楽団

3月　9(日)　15:00(14:00開場)

第1部　ロシアバレエ音楽の世界　～ソチ五輪によせて～
チャイコフスキー／バレエ「くるみ割り人形」より
行進曲　こんぺい糖の踊り　ロシアの踊り　あし笛の踊り　花のワルツ
ハチャトゥリアン／バレエ「ガイーヌ」より　ばらの乙女の踊り　剣の舞
チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」より　情景　ワルツ　4羽の白鳥の踊り　チャルダッシュ
ハチャトゥリアン／組曲「仮面舞踏会」より　ワルツ

第2部　合唱組曲『北九州』　作詞／栗原　一登、作曲／團　伊玖磨
合　唱／北九州をうたう会　北九州市立浅川中学校合唱部　北九州市立石峯中学校合唱部
北九州市立折尾中学校合唱部　北九州市立上津役中学校合唱部　北九州市立二島中学校合唱部
北九州市立本城中学校コーラス部　九州国際大学付属中学校音楽部
児童合唱／門司少年少女合唱団　北九州市少年少女合唱団　北九州アカデミー少年少女合唱団
若松少年少女合唱団　北九州市小倉少年少女合唱団　北九州少年合唱隊　ひびき少年少女合唱団
祇園太鼓／小倉祇園太鼓保存振興会

※都合により出演者、演奏曲目が変更になる場合もありますので予めご了承下さい。

アルモニーサンク北九州ソレイユホール　北九州市小倉北区大手町12-3

料金:全席自由　一般2,000円　学生1,000円　※当日各500円増

チケット好評発売中!!

※前売で完売した場合、当日券は販売いたしません。
※未就学児入場不可。託児有（有料・要予約 0120-400-829）

お問合せ先　(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課　TEL.093-562-3611

ツドエ meets 北九州 vol.10 劇団子供鉅人「HELLO HELL!!!」

◇作・演出／益山貴司

撮影：明地清恵

生演奏で歌って踊る大人気音楽劇シリーズ第4弾！
地獄の亡者たちのミュージカル！

旬の小劇場劇団をお届けするツドエ meets 北九州。第10弾の今回は、関西で人気の若手劇団がついに九州初登場！　地獄の亡者たちの生き様が所狭しと炸裂する、風刺のスパイスがピリリと辛い、悲劇的喜劇音楽劇です。総勢32人もの出演者が、舞台上で楽隊と共に生演奏で歌って踊る、ダイナミックな舞台をお見逃しなく!!

1月　18(土)　19(日)
13:00(12:30開場)
18:00(17:30開場)

料金:一　般　3,000円(当日 3,500円)
学　生　2,000円
高校生以下1,000円
※学生・高校生以下は前売りのみ取扱
※未就学児入場不可

チケット好評発売中!!

北九州芸術劇場　小劇場

お問合せ先　北九州芸術劇場　TEL.093-562-2655

ジャンルごとに色分けして表記しています。
演劇・舞踊　音楽　美術・展示　etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

CulCulの主な設置場所

市内ＪＲ駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーションなど

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版　(公財)北九州市芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ➡ 北九州文化 検索
URL:http://www.kicpac.org/ ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

スマートフォン・タブレット版　無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます
❶「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール
❷「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索
ActiBook

「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ➡ かるかる 検索　URL:http://www.kicpac.org/culcul/index.html

二次元コードからでもご覧になれます。

北九州市芸術文化情報誌「CulCul」・「かるかる」
■発行日／2014.1.1　■発　行／北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団　出版事業課
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F　TEL:093-662-3012　FAX:093-662-3016

情報コーナー

■南河内万歳一座

「満月～みんなの歌シリーズより～」

2月1日（土）～2日（日）午後1時30分開場、同2時開演。午後5時30分開場、同6時開演（2日は同2時開演のみ）。北九州芸術劇場小劇場（小倉北区室町／リバーウォーク北九州6F）。疾走感あふれる台詞の掛け合いで、現代人が抱える暗闇をシリアスに描く。作・演出は内藤裕敬、ゲスト出演は浪曲師の春野恵子。日時指定・全席自由。入場料、一般3000円、学生・シニア（65歳以上）2800円。当日各500円増。

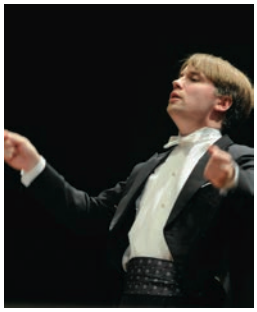
北九州芸術劇場
093（562）2655

撮影：谷古宇正彦

■日本フィルハーモニー交響楽団

「第39回九州公演 日本フィル in kyushu 2014」

2月15日（土）午後1時15分開場、同2時開演、アルモニーサンク北九州ソレイユホール（小倉北区大手町）。指揮は、ピエタリ・インキネン（日本フィル首席客演指揮者）、バイオリンは三浦文彰。シベリウス「交響詩『フィンランディア』」、チャイコフスキー「ヴァイオリン協奏曲」ほか。また、同1時45分より、ステージにて音楽評論家の奥田佳道によるプレトークも開催。全席指定。入場料、RS席7000円、S席6500円、A席5500円、A席4500円、学生3500円。



© 三好英輔

日本フィル北九州公演実行委員会事務局
090（4997）5500

■（公財）北九州市芸術文化振興財団

「仲道郁代 with 響ホール室内合奏団～甘美なるフォルテピアノの響き～」

2月23日（日）午後2時開場、同3時開演（同2時20分よりロビーにてミニコンサートを予定）、北九州市立響ホール（八幡東区平野）。ピアニストの仲道郁代をゲストに迎え、作品が生まれた当時の楽器「フォルテピアノ」を使用する。曲目は、モーツァルト「ピアノ・ソナタ第11番イ長調『トルコ行進曲付き』」、メンデルスゾーン「シンフォニア第1番ハ長調」ほか。入場料、指定席完売、自由席ペア4000円、自由席一般2500円、U-25（自由席）1000円。（当日各500円増、ペア券は前売りのみ）。

（公財）北九州市芸術文化振興財団音楽事業課
093（663）6661

©Kiyotaka Saito

永野栄子 いろはにぴあの

2013年12月から14年初めにかけ、私にとって楽しみなコンサートがたくさん！　北九州はもちろん博多や東京まで飛び回ります。遠方に出かけてまでも、聴いたり観たりしたいアーティストの魅力は格別で、他で味わえないその強い意思、パッション、アイデアに、感動で身が震えるほどです。

私は自分の生徒達を教えるとき、「あなたはどう考えるのか、どう表現したいのか」と問いかけます。コンクールなどでたくさんの人が同じ曲を演奏する時ならなおのこと（コンサートだってもちろん）、個人の思い

心に訴えかける演奏をするために

「私はこう考えます」が見えないと説得力に欠け、多勢に埋没してしまう。そして、その「個人の思い」が見えない演奏が多いのも事実です。『楽譜に書かれている事を正確に弾く』。確かにこれは大変な作業ですが、それだけでは人の心に訴えかける事ができない。外国の方とお話ししていると、それはそれは自分の考えを強く主張してきます。その発言がすべて「う～む」と唸るほどの内容ではありませんが、とにかく『発言する』という習慣が身に付いている気がします。『察して下さい』では絶対伝わらない。何でもしゃべって、粗野な我流も立派な個性に磨かれていくのです。14年もまた、私は子供達とのおしゃべりに興じます。

きたきゅう発掘！ 考古学ノート

A5判オールカラー 定価1,200円(税込)にて絶賛販売中！

お問合せ：(公財)北九州市芸術文化振興財団　出版事業課
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F
TEL 093-662-3012 FAX 093-662-3016

「考古学ノート」はホームページからも購入できます⇒北九州文化で検索　出版事業で申し込み

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

埋蔵文化財 hiroba

遺跡からのメッセージ

（公財）北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室　学芸員
中村　利至久 *Toshihisa Nakamura*

古墳へのいざない

唐突ですが皆さん古墳はお好きですか。何でも近頃は古墳を愛で、各地の古墳を尋ね歩く「古墳ガール」と呼ばれる女性達もいるとのこと。世の中がそんなことになっているとは全く知りませんでしたが、歴史愛好家の裾野が広がるのは素直に嬉しいものです。

ところで、日本考古学の世界で「古墳」と言うと一般的には古墳時代に社会的地位のある人達のためにつくられた墳丘をもつお墓のことを指します。例えばそれ以前の弥生時代に作られたお墓は、埋葬施設の構造等から「土坑墓」や「石棺墓」などと呼び、墳丘をもっていてもそれは「墳丘墓」であって古墳とは呼びません。これは古墳時代以後につくられたお墓についても同様です。では何故こんな呼び分けを行うのでしょう。それは古墳が他の時代とは異なり、当時の社会に密接に関わった、高度に社会的・政治的な構築物だと考えられているからです。その存在が単なるお墓の枠を超えて、時代の象徴的な存在であるため、あえて他の時代のお墓と区別されているのです。

さて、この古墳、実は北九州市にもたくさんあるのをご存知でしょうか。現在までの所、市内ではなんと約360基もの古墳が確認されています。その形は様々ですが、教科書でもおなじみの前方後円墳は9基あります。これらは全て周防灘に面した小倉南区の曽根平野に集中していて、今のところ他の場所では確認されていません。前方後円墳という墳形を採用することは、一般的に畿内にあった王権と繋がりがあったことを示すものと考えられています。この地域の首長達も王権となんらかの関係をもち、その結果として前方後円墳を築いたのでしょう。

曽根平野は航海の難所である関門海峡を通過せずに北部九州に上陸する最適な位置にあるため、王権にとっては畿内と九州とを繋ぐ接点として重要な場所だったのかもしれません。日本書紀の安閑天皇二年（535年）の条には東北部九州に王権の直轄地である屯倉と呼ばれる施設が複数設置された記事があります。そのうちの一つである大抜屯倉の所在地は、現在の小倉南区貫に比定されていますが、これも古墳時代にこの地域が重要であったことを示す事柄の一つと言ってよいでしょう。曽根平野に築かれた前方後円墳群は、このような地域の歴史を物語る貴重な史跡なのです。

ちなみに、墳長約67mと市内最大の前方後円墳である荒神森古墳は、大きな破壊を免れ現在もその形状をよく残しています。もし興味があれば、ぶらりと古墳探訪にでかけてみてはどうでしょう。きっとあなたを古代への旅にいざなってくれますよ。

【このコーナーの次回掲載予定は3月号です】

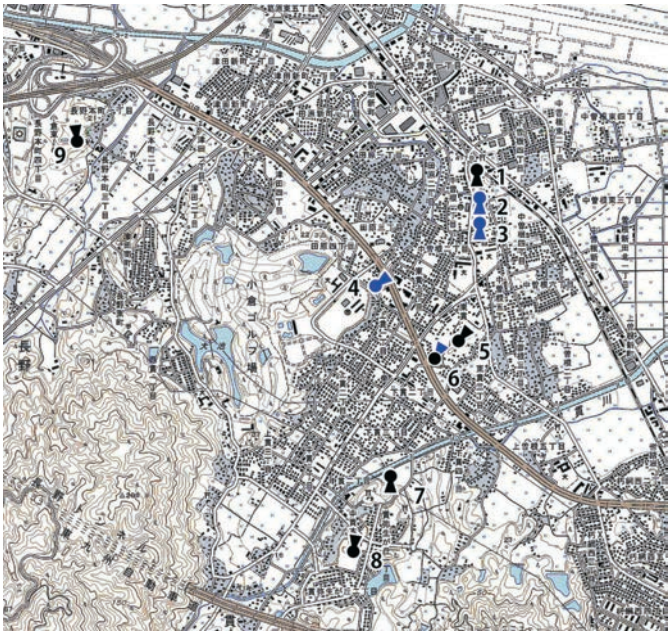


図1　曽根平野の前方後円墳群
1 荒神森古墳　2 丸山古墳　3 円光寺古墳　4 畠山古墳
5 上ん山古墳　6 茶毘志山古墳　7 両岡様古墳　8 御座1号墳
9 観音寺古墳
※黒：現存　青：消滅

図2　荒神森古墳
（現在は墳頂部に神社が建っており、墳丘は境内の一部となっている）

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム　専門研究員
表　智之 Tomoyuki Omote

震災復興への願いと漫画のパワー

2011年3月11日の東日本大震災からまもなく3年。何年かごとに大きな地震が起きるのは火山国・日本の宿命のようなものですが、今回は格別に大きな衝撃を、被災者のみならず日本中の皆が受けたように思います。津波によって街が根こそぎ流されていく恐怖。原子力発電所の事故により今なお復興のめども立たない町や村が多数ある不安。被害の大きさだけでなく、信頼していた社会の根幹がもろくも崩れ去ったような喪失感があるのでしょう。

被災者支援のため何かしようという動きが、社会のありとあらゆる分野で活発に起きました。漫画の世界も同様です。いわゆるチャリティー形式の出版やイベントはもちろん、漫画家個人が普通にボランティアとして復興作業に従事した例も少なくありません。興味深いのは、そういった支援の動きの中で「漫画なんて描いてる場合か？」というためらいや戸惑いが、異口同音に漫画家自身の口に上ったことです。

日本において漫画は何となく〝低く〟見られています。「クールジャパン」ともてはやされ、公営の漫画施設が珍しくなくなっても、かつて「悪書」と激しく攻撃された頃の空気は根強く社会にあります。ただしその〝低さ〟は、実は〝近しさ〟でもある。日本において漫画は、読者のニーズをしっかり受け止めて描くことが第一に求められます。その結果、性や暴力も含め、読者の欲望を赤裸々に反映する部分があり、「悪書」と糾弾されてしまうのですが、その一方で、誰にも言えない痛みや苦しみを漫画だけが受け止めてくれる、そんな部分も確かにあるのです。

被災者の胸の奥、他人にはなかなか触れがたい心の傷に、漫画だからこそ何かを届けられるのではないか――チャリティーに携わった漫画家たちがそう自負していたわけでもないでしょうが、「漫画家が出来る最善の貢献は漫画を描くことである」というプロ意識は感じ取れます。そして実際、日本の現代史の中で漫画は、人々の心にするりと入り込んで、希望や勇気を届けてきたのです。

敗戦後の焼け跡で、科学が発達し希望にあふれた未来を、強い反戦の意志と共に描いたのは手塚治虫でした。公害問題の表面化や『ノストラダムスの大予言』（1973年）ブームなど、未来を暗いかげりが覆った時代には、道を誤った科学と戦う『仮面ライダー』や、地球を絶滅から救うため命を賭ける『宇宙戦艦ヤマト』が一世を風靡（ふうび）しました。古くは関東大震災の頃にも、被災者の心のなぐさめにと新聞漫画『ノンキナトウサン』が登場、これが日本初の日刊連載漫画になりました。

北九州市漫画ミュージアムでは1月11日より、「震災復興と漫画」と題した展覧会を開催します。宮城県石巻市の復興に「石ノ森萬画館」が果たした役割についてのパネル展示。福島県南相馬市の伝統的な祭り「相馬野馬追（そうまのまおい）」の再開を支援するため漫画家たちが描き下ろし作品を提供した「武者絵展」（図版）の巡回開催など、東日本大震災からの復興に向け漫画と漫画家がどう貢献しようとしたかをご紹介します。漫画という表現が持つパワーに触れていただきつつ、震災3年目の春に想いを致していただければ幸いです。

星野泰視『疾駆する』　© 星野泰視

Information

「震災復興と漫画」展

【開催期間】2014年1月11日（土）～2月2日（日）

【開館時間】※毎週火曜日（休日の場合はその翌日）休館
午前11時～午後7時（入館は午後6時30分まで）

【会場】北九州市漫画ミュージアム

【入館料】常設展観覧料で観覧可能
一般　400円　　中高生　200円
小学生　100円　　小学生未満　無料

【お問合せ】※12月29日～1月3日は休館
北九州市漫画ミュージアム　093(512)5077

美術 hiroba

北九州アートめぐり

キュレーター
花田伸一 Shinichi Hanada

「柳瀬正夢 1900-1945 大正、昭和を駆けぬける」より

北九州市立美術館本館にて、2013年12月14日(土)～2014年2月2日(日)に企画展「柳瀬正夢1900-1945 大正、昭和を駆けぬける」が開催されています。北九州ゆかりの画家、柳瀬正夢（1900～1945）の画業を紹介するものです。

柳瀬の活動として最も知られているのは『無産者新聞』や『戦旗』におけるプロレタリア美術運動での活躍でしょう（写真1、2）。労働者の権利や立場を守るための運動です。あるいは読売新聞において風刺画や漫画も多く手がけるなど、社会へ温かくも鋭い眼差しを向けつづけた柳瀬の活動は絵画のみならず、漫画、装丁、舞台美術、写真、俳句など、多岐に及びます。

さて同展は、柳瀬とかかわりのある土地に近い3つの美術館で開催されます。案内文に「生誕地の松山、10代を過ごした門司、活動の舞台となった東京という、（中略）それぞれの土地と柳瀬の関わりや描かれた場所を再検証」とある通り、北九州会場では柳瀬と北九州との関わりが取り上げられています。

柳瀬は1911年、11歳のときに生まれ故郷の松山から門司へ移り住み、10代の多感な時期を門司で過ごしました。15歳のときには風景画《河と降る光と》（写真3）が再興第2回院展に入選し（当時の院展には油彩画部門もありました）、その才能を早くも開花させます。また柳瀬は門司にあった喫茶店「カフェ・ブラジル」のマスターや出入りする文化人たちとの交流を通じて、様々な芸術に触れ、関心を深めていきました。

15年には小倉で出会った松本文雄を通じて社会主義思想を知り、傾倒します。それがその後プロレタリア美術運動へと身を投じていく下地となりました。

このように柳瀬が多感な10代を過ごした北九州の地は、その後の画業の素地を固めるのに大変重要な場であったといえるでしょう。

ところで、このたび本展とは別に、同時期に『柳瀬正夢全集』（全4巻＋別巻1、三人社）が新たに刊行されるそうです。柳瀬の本名は「正六」といいますが、「正夢」というペンネームを冠する柳瀬が思い描いていた「夢」とはどのような夢だったのでしょうか。このたびの展覧会や全集刊行を機に、多くの人が柳瀬の夢に触れ、その志が今後も受け継がれていくことを願います。

写真1

写真2

写真3

写真4

【写真解説】

写真1：「読メ！無産者新聞」ポスター
1927年
神奈川県立近代美術館寄託

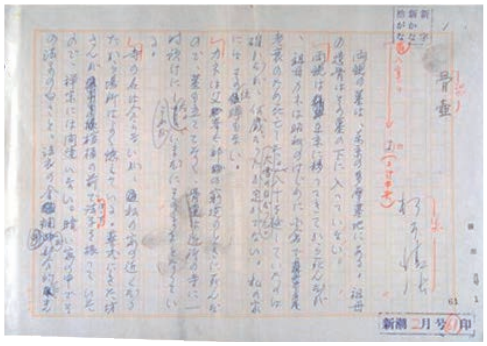
写真2：「五万の読者と手を握れ　全民衆の味方無産者新聞を読め!!」ポスター
1927年
神奈川県立近代美術館寄託

写真3：『河と降る光と』 1915年
武蔵野美術大学美術館・図書館蔵

写真4：『門司』 1920年
武蔵野美術大学美術館・図書館蔵

文芸 hiroba

清張アラカルト
北九州市立松本清張記念館　専門学芸員
柳原暁子 *Akiko Yanagihara*



『骨壺の風景』原稿

作家と故郷（ふるさと）——清張と『東京タワー』と、北九州市

北九州市は、清張の幼少期から壮年期までを育んだ、紛れもない「故郷」ですが、当時のことを書いた作品は、さほど多くありません。しかも、あまり良い想い出を書いていないせいか「清張は小倉が嫌いだった」という噂がいまだに聞こえてきます。考えてみると「故郷」とは、作家にとって一つのテーマにもなりうる存在です。

リリー・フランキーは『東京タワー　オカンとボクと、時々、オトン』（以下『東京タワー』）で、昭和40年代前後の北九州を描いています。「ボク」は少年時代を筑豊で過ごしますが、父の住む小倉や、伯母の住む若松などを行き来します。定職に就かず、母に苦労をかける父、一人っ子の主人公は、どことなく松本清張の『半生の記』とも重なります。

『半生の記』は、「回想的自叙伝」というタイトルで『文藝』（昭和38年8月号～40年1月号）に連載された自伝的作品です。単行本の〈あとがき〉で、清張は〈書くのではなかったと後悔した。自分の半生がいかに面白くなかったかが分った。〉と書いています。本人の気持ちはさておき、読者にとっては、作家の生い立ちや、当時の北九州市が偲ばれ、なかなか味わい深く貴重なテキストです。惜しむらくは、清張にも『東京タワー』のようなユーモアがあったなら、もっと地元の人にも理解されたのでは……と考えるのは余計なお世話でしょうか。清張本人が言っているように、苦労性だった母の血を受け継いでしまった、作家の性分なのでしょう。

天神島小学校※卒業時の清張。大正 11 年。

『半生の記』から15年後、『骨壺の風景』が『新潮』（昭和55年2月号）に掲載されました。そこに繰り返されるエピソードは、『半生の記』とほとんど同じですが、70歳の清張が実際に小倉の街を訪ね歩き、地名や人名などが全て実名で登場する、エッセイのような小説です。

祖母・カネは〈清さん、ウチが死んでもおまえをまぶって（守って）やるけんのう〉というのが口癖でした。〈私は、小さいときから他人のだれからも特別に可愛がられず、応援してくれる人もなかった。冷え冷えとした扱いを受け、見くだす眼の中でこれまで過ごしてきた。その環境は現在でもそれほど変わっていないと思っている。が、とくにひどい落伍もしないで過ごせたのは、祖母がまぶってくれているようにときどきは考えたりする。〉と清張は書いています。葬式もろくに出せず、預けたままだった祖母の遺骨は、寺によって合葬されていました。「私」は、位牌だけを持って小倉を去ります。

この『骨壺の風景』には〝特筆すべきこともない半生〟という自己評価は、もはやないように思います。あるのはただ、何者でもなかった清張に流れていた無垢な時間であり、すでに亡くなった人たちから注がれていた愛情の記憶ではないでしょうか。

『東京タワー』にも、亡きオカンの位牌を持って小倉に帰郷する場面があります。〈川沿いに面した部屋から、八坂神社へ向かう初詣での人たちが見える。窓辺に位牌とビールを置いて、懐かしい小倉の町並みを眺めた。／この川沿いにある病院でボクは生まれたらしい。今もまだ、その建物はあるのだろうか。／「オカン、帰って来たよ。ずいぶん変わっとるね。玉屋とか井筒屋はあるんやろうか。ルイ・ヴィトンができとったけど、本物なんやろうかね？」〉リリーさん、それは本物です。『東京タワー』の小倉もまた、移りゆく故郷の姿でありましょう。

清張の没後、北九州市は「おかえりなさい」と作家を迎えました。清張文学の原点（ふるさと）である、ここ北九州市に、記念館はあるのです。

当館では、1月から特別企画展「北九州市と松本清張」を開催します。清張と故郷（ふるさと）との絆を、あらためて市民の皆さんに知っていただけたら幸いです。

母校・天神島小学校にピアノを寄贈。昭和36年。

※天神島小学校は廃校となり、もとの場所は市営駐車場となっている。現在は小倉中央小学校に統合。

Information
北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区城内2の3
093（582）2761
【観覧料】※（　）内は団体料金
一般　　500円（400円）
年長者利用証提示：400円
中・高生　300円（240円）
小学生　　200円（160円）
【開館時間】（入館は午後5時30分まで）
午前9時30分～午後6時
【休館日】年末（12月29日～12月31日）

演劇 hiroba

演劇の街は、いま
大塚恵美子演劇事務所　代表
おおつか えみこ Emiko Otsuka

福岡県高校演劇北九州地区大会

演劇は世界を映しだす鏡。そんな事を実感させられる体験をした。

10月25日～27日、八幡市民会館で行われた「福岡県高校演劇北九州地区大会」での事だ。毎年同時期に行われるこの大会は、主催組織の形や名称は若干変わってはいるものの、昭和25年から行われている伝統的行事である。今年度の北九州地区の参加校は15校。各校がこの日のために創り上げた作品を上演し、結果、小倉高校、戸畑高校、八幡南高校の3校が11月に行われる県大会へ駒を進める事となった。

北九州地区の特徴として、出版されたり、劇団によって上演されたりした既成の戯曲ではなく、自分たちで書き上げた〝創作〟作品を上演する高校が多い、という事があげられるだろう。今年を見ても、15校中12校が生徒または顧問の書きおろし作品で、県内の他地区に比べて明らかに多い。

この傾向も、北九州の〝モノ創り〟気質を象徴しているようで興味深いのだが、今年特に興味深く思ったのは、生徒創作の作品の多くが、申し合わせた様に似通ったテーマを扱っていたことだ。

いくつか例をあげてみよう。

とある小さな公園を舞台に、町内のお祭りでの舞台デビューを目前にして練習にはげむ大学生の漫才コンビや、無職の青年、美術部の高校生などが登場する、小倉高校の『落書きの中に』。様々なバックグラウンドを持った登場人物が一様に抱える将来への不安と、淡い希望が交差する様を描いた群像劇だ。

戸畑高校の『まっかなかいじゅう』はある日の放課後の写真部のごたごたの物語。〝写真〟という自己表現手段を軸に、登場人物の中にひそんだ〝かいじゅう〟が大暴れするお話である。

戸畑工業高校の『バカ。』は昭和30年代を彷彿（ほうふつ）とさせる長屋が舞台。東京の大学に進学するという夢を実現するべくがんばっている受験生と、彼女に思いを寄せている住人がまきおこすドタバタ喜劇。

明治学園高校の『きらきら』の登場人物たちも、友人の色覚異常を知った事をきっかけとして、自分たちが好きな〝絵を描くこと〟がどういう事であるかを見つめ直す。

顧問との共同創作ではあるが八幡南高校の『さあ、約束の場所へ』は、将来書道家になりたいという夢を親に反対されている高校生が主人公。彼女とその友達がその障害を乗り越えていくさまが詩的かつスピーディーに描かれていく作品だ。

他の生徒創作も、細かな設定や主となる事件は違えど、演劇や写真、絵画、書道など、自分を表現する手段や、自分の進路に不安を感じつつ、その先に希望を見いだしたいという思いが描かれているという部分は共通している。

毎年、自分たちの等身大の思いを描いた「演劇部モノ」「教室モノ」は一定数登場するのだが、ここまで足並みがそろうのは珍しい。高校生たちが、それだけ日常的にゆるやかな不安にさらされているということなのだろうか。

東日本大震災後、〝生と死〟に目を向けた作品が多くなった時期があった。その視点が、ゆるやかに高校生たち自身の内面へと移りつつある。そんな意識の変化を感じた3日間だった。

小倉高校『落書きの中に』

八幡南高校『さあ、約束の場所へ』

山海塾
『かがみの隠喩の彼方へ－かげみ』

広報係　一　田　真　澄 Masumi Ichita

Cul 特集 Cul ⑨ 北九州芸術劇場

©Jacques Denarnaud

伝統と前衛。日本人の身体性が生んだ舞踏

北九州芸術劇場では開館初年度より、劇場のレパートリー作品のひとつとして、山海塾の公演を行っています。山海塾は、1975年に主宰・天児牛大（あまがつうしお）により設立された舞踏カンパニーです。

舞踏は、西洋舞踊の真似ではない、日本人特有の身体性に重点を置いたダンスの創生を目指し、60年代に土方巽（ひじかたたつみ）らを中心に形成されました。一般的には、剃髪、白塗り、低く落とした重心やすり足、といったイメージがありますが、その表現方法は多岐に渡ります。天児は、一貫して舞踏を「重力との対話」と捉え、空間、肉体の内的変化に意識を集中させる事によって生まれる、固有のアートフォームを追求しています。

海外での評価と軌跡

77年に処女作『アマガツ頌』を発表した山海塾は、早くも80年には海を越えてフランスへ。82年より、コンテンポラリーダンスの最高峰である「パリ市立劇場」を創作の本拠地とし、以降の作品は、全てパリ市立劇場との《共同プロデュース》という形を取っています。厳しく作品の質を問う同劇場が、四半世紀以上に渡り創作を支援し続けているカンパニーは、世界でもごくわずか。その後、北米、アジア、オセアニア等、国や文化を越えて支持され続け、200

©Jacques Denarnaud

2年にはイギリスで最も権威あるローレンス・オリヴィエ賞を日本のカンパニーとして初めて受賞。国内でも、06年に朝日舞台芸術賞グランプリを受賞、また天児個人としても11年に紫綬褒章を受章する等、作品の持つ普遍性と優れた芸術性によって、独自の地位を築き上げました。

生命の根源に迫る透徹した美の世界

2000年にパリで初演された『かげみ』は、当時、満席のパリ市立劇場を陶酔させた話題作です。『かげみ』の〝かげ〟は「影」、光との対で空間に明暗を生むもの、鏡や水面に映る姿そのものでもあり、〝み〟は「見」を指します。また「かげみ」＝影見は、鏡の語源とも言われています。

舞台は全7幕。一面に蓮の葉が揺らめき、やがてその蓮の葉が浮上すると、そこは水面のはるか彼方―人類の祖先ともいえる、生命たちの世界です。水面から差す光、たゆたう影。《意識の糸》の連鎖によって、微細ながら強力な磁力を放つ動き。ミクロの細胞の美しさを思わせたイメージは、やがて動きのダイナミズムと共に、無限の宇宙へと拡大します。かつて人類が、水鏡に映る姿に初めて自己を見出したように、私たちもまた舞台上のもう一つの世界から、宇宙の生命の一部としての、自身の肉体の神秘を発見することでしょう。

北九州芸術劇場は、山海塾作品を最も美しい状態で鑑賞できる劇場とも言われています。春の訪れが待ち遠しくなる2月、深い水の底に産声をあげる生命の息吹を、感じに来ませんか。

©Jacques Denarnaud

Information

【会場】
北九州芸術劇場　中劇場　093(562)2655
【日時】
2014年2月16日(日)　午後2時開演
※終演後、天児牛大によるポスト・パフォーマンストークあり。(ゲスト：舞踊評論家・石井達朗)
※開場は開演の30分前
【チケット料金／全席指定】※当日各500円増
一般：4,500円
ユース：2,500円(24歳以下・要身分証提示)
※未就学児入場不可

(公財)北九州市芸術文化振興財団
Kitakyushu City Foundation for Promoting Arts and Culture

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2014
January
1
Vol.9

表現できる自由がある。

特集
北九州芸術劇場
演劇｜演劇の街は、いま
文芸｜清張アラカルト
美術｜北九州アートめぐり
漫画｜漫画と北九州
埋蔵文化財｜遺跡からのメッセージ
音楽｜いろはにぴあの

Culture&Cultivateかるかるは文化を意味する英語Cultureと芸術に親しむことを意味するCultivateの造語です。
題字に使用しているロゴは北九州生まれの欧文フォントCCArtSans(CCAアートサンズ)を使用しています。